

はじめに

現在、我が国では、未曾有の社会状況や社会の構造的変化の中、地域社会には多岐にわたる課題が現れており、公民館を中心とする社会教育施設においては、時代の変化によって生じた新たな課題に対応していくことが求められています。

令和4年8月の第11期中央教育審議会生涯学習分科会における議論の整理「全ての人のウェルビーイングを実現する、共に学び支えあう生涯学習・社会教育に向けて」では、多様性を持ちながら調和のある社会を目指すことが求められる現在の我が国において、学びを通じて「人づくり・つながりづくり・地域づくり」の循環を生む、公民館活動が改めて重要視されています。また、公民館については、これまでの地域の学習拠点としての機能や役割に加え、子供の居場所としての活用、関連施設・各種団体や民間企業等との連携等が求められています。公民館は、住民自身が主体的に学ぶ意思を持ち、教え学び合う当事者となり、その学習成果が地域における活動に還元されるような循環を生む「地域コミュニティの基盤」として、存在がより一層期待されています。

そこで、県公民館連合会では、今後、県内における公民館活動のさらなる発展を目指し、県内公民館の実態を把握するとともに、より効果的に公民館活動を推進する基礎資料とするため、このたび公民館実態調査を実施しました。この調査結果が、より効果的な公民館活動を推進するとともに、住民参画による地域づくりや地域活性化の一助になることを願っています。

最後になりましたが、御多用中にもかかわらず調査の実施にあたり御協力をいただきました県内各公民館関係者の皆様に心から御礼申し上げます。

令和6年3月

岡山県公民館連合会

会長 熊谷 慎之輔

目次

I 調査概要	1
II 公民館等の現状について	
1 公民館の現状	2
2 公民館職員の現状	4
3 地域住民の参加・参画状況	6
4 学習要求の把握状況	8
5 事業の自己点検及び評価の実施状況	10
III 公民館事業等の現状について	
1 現代的課題と地域課題に関する講座	12
2 学校園等と事業連携の現状	17
3 障害をもった方を対象とした事業	19
IV 岡山県公民館連合会研修会への参加状況について	20
V 自由記述	21
VI まとめと今後の方向性	25
調査用紙	27
県内公民館（本館）一覧	30